

それぞれの「農と食」の豊かさ Bioファームまつき “松木一浩さん” と語ろう！

2/2(土) 12:30 開場 13:00 開演

- ◆大会会場：安曇野市 三郷農村環境改善センター
- 懇親会・宿泊会場：松本市梓川「梓水苑」
- ◆参加費：講演会 1000 円
- 懇親会 4000 円（要予約）
（5500 円 お酒を飲む方）
- 宿泊 4500 円（要予約）



第一部

《基調講演》 松木一浩氏

静岡県富士宮市「Bioファームまつき」代表
有機野菜栽培・宅配・惣菜店・レストラン等、
有機農業の可能性に夢を託し、多角的に有機農業を
経営する。

第二部

《パネルディスカッション》

それぞれの農と食の豊かさを、松木氏と地元若手が語ります。

◆パネリスト◆

崎元伸郎さん(料理人)

穀物菜食オーガニックレストラン & カフェシャロムの料理人。持続可能な社会とライフスタイルのためにマクロビオティックを実践。シャロムで育てた自然農の作物で「その時その土地でしか味わえないものを味わう」と腕を振るう。

松村暁生さん(果樹農家)

『おぐらやま農場』を営農。「自然が命を生かしている仕組み」を農業に応用した「炭素循環農法」に取り組み、りんご、桃、加工トマト、野菜を栽培。日本、世界各地から農業体験、田舎暮らし体験をしにウーファーが訪れる。

増田望三郎さん(農家民宿)

『安曇野地球宿』を主宰。農的暮らしを実践しながら、人が心通い合わせることでできるコミュニティ宿。小さな自給農と自分の特性を發揮できる天職Xを組み合わせた「半農半X」の生き方をこれからの時代に提案する。

津村寿美さん(農家の嫁)

夫はアフリカ・ザンビアで農業指導後、百姓として独立。エゴマ、トマト、合鴨農法米が主な作物。料理人でもある寿美さんと合鴨料理屋を目指す。一般家庭が菜園として遊休農地を生かす取り組みをサポート。子育て奮闘中の母です。

千葉範子さん(消費者)

若い頃から登山を愛し、深淵な自然の中で、「人とは何か」と問い続ける。自然農の何も持ち込まず持ち出さない土地で育つ種に、命としての人間のあり方を感じる。家庭菜園や援農を通じ、自然農の作物が体を与える力を実感中。

◆司会◆

竹内孝功 (自給自足 Life 主宰)

自然農園コンサルタント。菜園教室「Azumino 自給農スクール」を開催。シャロムヒュッテの自然農畑を担当。